

令和2年度 第1回 事業評価監視委員会 審議案件一覧（道路事業：再評価）

資料1

番号	審議区分	県名	事業名	前回評価年度 【】で前々回評価年度を記載している事業は、前々回の費用便益分析結果を用いた事業（）は今回再評価理由	車線数	事業延長の変化 ()内は開通済み延長 (R2予定含む)		全体事業費の変化		事業期間の変化		計画交通量の変化		費用便益比の変化				R2年度以降開通予定 (R2.9時点)	対応方針 (原案)	県知事意見
						前回	今回 ()は 前回との差	前回	今回 ()は 前回との差	前回	今回 ()は 前回との差	前回	今回 ()は 前回との差	全体		残事業				
														前回	今回 ()は 前回との差	前回	今回 ()は 前回との差			
1 (資料3-1)	要点	岩手	一般国道4号 水沢東バイパス	H27 【H24】 (社会情勢変化)	2/4	9.6km (4.6km)	9.6km (6.9km) (+2.3km) ○奥州市水沢姉妹町～奥州市水沢東中通り二丁目	380億円	390億円 【+10億円(3%)】 ○支持層変更に伴う橋梁構造の変更	39年 S60～R5	41年 【+2年】 S60～R7 用地買収難航による事業工程精査	21,500台/日	20,200台/日 【-1,300台/日】 将来OD変更、ネットワーク条件見直しによる減少 ■推計：H220D	1.2 【前々回】	1.05 【-0.15】 事業費増、交通量減によるB/Cの減	3.4 【前々回】	2.6 【-0.8】 部分供用による便益の減少によるB/Cの減	■奥州市水沢真城字東大深沢～奥州市水沢姉妹町 L=2.7km (R7)	事業継続	事業継続
2 (資料3-2)	要点	岩手	一般国道46号 盛岡西バイパス	H28 【H25】 (社会情勢変化)	4/4 ～ 4/6	7.8km (7.8km) 2/4暫定3.6km 4/4完成1.1km 4/6暫定3.1km	7.8km (7.8km) 2/4暫定3.6km 4/4完成1.1km 4/6暫定3.1km	430億円	453億円 【+23億円(5%)】 ○道路標示方書改定の対応	39年 S59～R4	42年 【+3年】 S59～R7 河川橋協議結果による工程精査	30,300台/日 【前々回】	30,900台/日 【+600台/日】 将来OD変更による増加 ■推計：H220D	1.8 【前々回】	1.3 【-0.5】 事業費増、事業期間延長によるB/Cの減	7.3 【前々回】	3.2 【-4.1】 部分供用による便益の減少によるB/Cの減	■盛岡市本宮字泉屋敷～盛岡市上厨川字前湯 L=3.6km (R7)	事業継続	事業継続
3 (資料3-3)	要点	宮城	一般国道4号 大衡道路	H27 (新規採択後5年)	4/4	4.5km (0km)	4.5km (0km)	79億円	79億円	10年 H28～R7	10年 H28～R7	27,300台/日	26,900台/日 【-400台/日】 将来OD変更による減少 ■推計：H220D	1.8	1.7 【-0.1】 交通量減によるB/Cの減	-	2.3		事業継続	事業継続
4 (資料4-1)	重点	山形	日本海沿岸東北自動車道 酒田～由利本荘 酒田みなと～遊佐	H29 (社会情勢変化)	2/4	12.0km (0km)	12.0km (5.5km) (+5.5km) ※R2予定 ○酒田みなと～(仮)遊佐比子(5.5km)	310億円	360億円 【+50億円(16%)】 ○盛土材改良の追加 ○防砂林数量の増	14年 H21～R4	15年 【+1年】 H21～R5 用地買収難航による事業工程精査	12,300台/日 (12,200台/日)	10,200台/日 (10,600台/日) -2,100台/日 【-1,600台/日】 将来OD変更、ネットワーク条件見直しによる減少 ■推計：H220D	1.8 (1.6)	1.1 (1.3) -0.7 【-0.3】 交通量減、事業費増によるB/Cの減	2.3 (2.9)	1.9 (2.9) -0.4 【0.0】 部分供用による便益の減少によるB/Cの減	■酒田みなと～遊佐比子(仮) L=5.5km (R2) ■遊佐比子(仮)～遊佐鳥海(仮) L=6.5km (R5)	事業継続	事業継続
5 (資料4-1)	重点	秋田 山形	日本海沿岸東北自動車道 酒田～由利本荘 一般国道7号 遊佐象潟道路	H29 (社会情勢変化)	2/2	17.9km (0km)	17.9km (0km)	520億円	575億円 【+55億円(11%)】 ○岩質の変化による工法の変更 ○仮設工法の変更 ○転石処理の追加	12年 H25～R6	14年 【+2年】 H25～R8 用地買収難航による事業工程精査	12,300台/日 (12,300台/日)	10,200台/日 (10,000台/日) -2,100台/日 【-2,300台/日】 将来OD変更、ネットワーク条件見直しによる減少 ■推計：H220D	1.8 (2.3)	1.1 (1.4) -0.7 【-0.9】 交通量減、事業費増によるB/Cの減	2.3 (2.5)	1.9 (2.1) -0.4 【-0.4】 交通量減、事業費増によるB/Cの減	■小砂川(仮)～象潟 L=7.3km (R7) ■遊佐鳥海(仮)～小砂川(仮) L=10.6km (R8)	事業継続	事業継続

※第1段階改善：平成22年度から反映。将来人口等を見直すとともに、各交通分野毎に推計していた生成交通量（推計のベース）を統合して推計

※第2段階改善：平成25年度から反映。各交通分野毎に推計していた分布交通量（OD表）を統合して推計（将来交通量推計が過大にならないように、全国統一で2段階で改善）

※計画交通量・費用便益比の上段は一体評価で算出した値、下段（）書きは個別事業毎に算出した値